

SMAM・バランスファンドVA株60型(適格機関投資家専用)

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

1／5

* 当資料に記載されている数値は小数点第2位以下を四捨五入したものです。

- ①主として、国内株式マザーファンド(A号)受益証券、国内債券マザーファンド(B号)受益証券、外国株式マザーファンド(A号)受益証券および外国債券マザーファンド(A号)受益証券への投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。
- ②基本資産配分比率は下記の通りです。ただし、それぞれの資産の時価変動等に伴う各資産比率の変化については一定の範囲を設け、調整を行います。
- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 株 式 | 60% | 債 券 | 40% |
| 国 内 | 35% | 国 内 | 25% |
| 外 国 | 25% | 外 国 | 15% |
- ③実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないことを基本とします。

● 基準価額および純資産総額

	1月31日	前月比
基準価額(円)	35,050	-195
純資産総額(百万円)	1	0

※ 基準価額は1万円当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	騰落率
1ヵ月	2024.12.30	-0.55%
3ヵ月	2024.10.31	1.44%
6ヵ月	2024.7.31	4.18%
1年	2024.1.31	11.27%
3年	2022.1.31	36.97%
設定来	2003.11.21	250.50%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

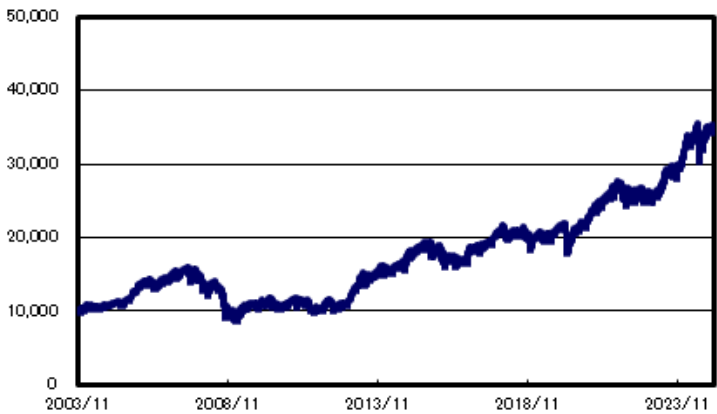
※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 資産構成

	比率	基本資産配分
国内株式マザーファンド(A号)	35.5%	35%
外国株式マザーファンド(A号)	25.4%	25%
株式合計	60.9%	60%
国内債券マザーファンド(B号)	23.8%	25%
外国債券マザーファンド(A号)	14.7%	15%
債券合計	38.5%	40%
現預金等	0.5%	-
合 計	100.0%	100 %

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2003.11.21)



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。当ファンドの信託報酬は年率0.605%（税抜き0.55%）です。

■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

★ 大樹生命からのお知らせ

● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがって、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。● 当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。● 当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということではありません。● 他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり・約款等を必ずご覧ください。

■ このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■ 当ファンドは、直接またはマザーファンド受益証券を通じて、株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動致します。■ 投資信託は、元本や利回りが保証されているものではありません。■ 投資した資産の価値の減少を含むリスク(価格変動リスク、為替リスク、信用リスク等)は、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。

【国内株式：国内株式マザーファンド(A号)】

● 基準価額および純資産総額

	1月31日	前月比
基準価額(円)	24,130	-76
純資産総額(百万円)	1,407	-9

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク(*)
1ヵ月	2024.12.30	-0.31%	0.14%
3ヵ月	2024.10.31	3.56%	3.63%
6ヵ月	2024.7.31	1.48%	0.95%
1年	2024.1.31	13.64%	11.88%
3年	2022.1.31	57.88%	58.57%
設定来	2003.11.21	379.82%	337.00%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、「SMAM・バランスファンドVA」設定日前日を基準としております。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2000.4.3)



■ 基準価額は、2003. 11. 20を10000として指数化しております。

■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

* 当ファンドはTOPIX(東証株価指数、配当込み)をベンチマークとします。

TOPIXは、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はJPXに帰属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	1月31日
株式	99.3 %
先物等	0.0 %
現預金等	0.7 %
合 計	100.0 %

※1 マザーファンド純資産総額対比

● 上位組入業種 ※2

業種名	比率
1 電気機器	18.7 %
2 銀行業	10.0 %
3 情報・通信業	8.7 %
4 輸送用機器	8.4 %
5 サービス業	6.5 %
6 化学	5.4 %
7 機械	5.1 %
8 その他製品	4.5 %
9 小売業	4.5 %
10 保険業	4.1 %
その他	24.1 %
合 計	100.0 %

※2 マザーファンド現物株式評価額対比

● 上位組入銘柄 ※1 (組入全銘柄数 95)

銘柄名	比率
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	5.4 %
2 トヨタ自動車	4.9 %
3 ソニーグループ	4.0 %
4 日立製作所	3.6 %
5 KDDI	3.2 %
6 リクルートホールディングス	3.0 %
7 パナソニック ホールディングス	2.5 %
8 三菱重工業	2.3 %
9 東京海上ホールディングス	2.2 %
10 任天堂	2.0 %
その他	66.2 %
合 計	99.3 %

● ファンドマネージャーコメント(国内株式)

国内の株式市場は小幅に上昇しました。

上旬は、堅調な米経済指標を受けた米利下げペース鈍化への懸念が重石となり、下落しました。中旬は、米国による先端半導体の輸出規制見直しを受けて下落した後、米インフレ懸念が和らぎ、持ち直しました。下旬は、トランプ新大統領の就任初日に対中関税即時発動が見送られたことを好感し、上昇しました。その後も、日銀の追加利上げを波乱なく通過したのちにAIを巡る報道からハイテク株が乱高下する場面がありましたが、月末にかけて持ち直す動きが続きました。

業種別では、証券・商品先物取引業、その他製品、銀行業などが市場をアウトパフォームした一方、海運業、電気・ガス業、卸売業などがアンダーパフォームしました。

<運用経過>

業種配分では、業績改善が見込まれる銘柄などの買付けを行った結果、「テクノロジー」などのウェイトが上昇しました。一方、業績の改善ペースが鈍くなると考えられる銘柄などの売却を行った結果、「消費循環」などのウェイトが低下しました。

配信や商品化権収入などの増加による映像事業の中期的な業績成長が見込まれる東宝、生成AI市場の拡大などを支えに中期的に半導体製造装置の良好な受注環境が続くと見込まれるディスコなどの買付けを行いました。一方、リソナホールディングス、レゾナック・ホールディングスなどを売却しました。

★ 大樹生命からのお知らせ

● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがって、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。● 当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。● 当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有することではありません。● 他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

【国内債券: 国内債券マザーファンド(B号)】

● 基準価額および純資産総額

	1月31日	前月比
基準価額(円)	13,231	-87
純資産総額(百万円)	384,284	835

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク(*)
1ヵ月	2024.12.30	-0.65%	-0.74%
3ヵ月	2024.10.31	-1.35%	-1.54%
6ヵ月	2024.7.31	-0.37%	-0.61%
1年	2024.1.31	-2.45%	-2.95%
3年	2022.1.31	-6.44%	-7.57%
組入開始来	2015.6.2	1.06%	-2.03%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“組入開始来”の騰落率は、「SMAM・バランスファンドVA」で国内債券マザーファンド(B号)の組入を開始した日(2015.6.3)の前日を基準としております。

● 資産構成 ※1

	1月31日
債券現物	92.2 %
先物等	6.9 %
現預金等	0.9 %
合 計	100.0 %
平均残存年数(年)	9.37
平均利回り	1.35%

※1 マザーファンド純資産総額対比

※2 マザーファンド債券評価額対比

● 満期構成 ※2

	1年未満	1.2 %
1-3年	16.5 %	
3-5年	14.4 %	
5-7年	6.2 %	
7-10年	16.8 %	
10年以上	41.8 %	
合 計	96.8 %	

● 種別構成 ※2

国債	59.9 %
政府保証債	0.2 %
地方債	2.7 %
金融債	0.0 %
事業債	34.3 %
円建外債	0.4 %
その他	2.5 %
合 計	100.0 %

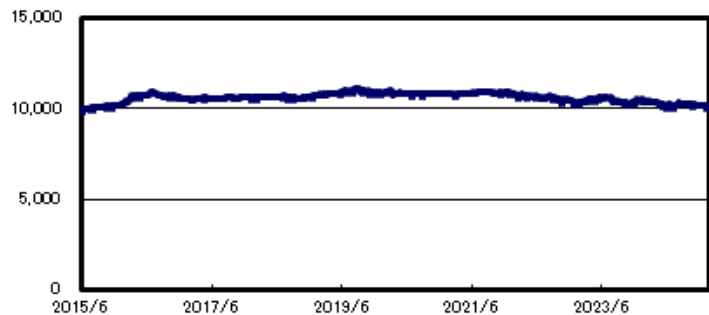
● 上位組入銘柄 ※1

(組入全銘柄数 289)

	銘柄名	比率
1	468 2年国債	6.1 %
2	467 2年国債	5.9 %
3	175 5年国債	2.6 %
4	190 20年国債	2.3 %
5	377 10年国債	2.3 %
6	364 10年国債	2.3 %
7	366 10年国債	1.7 %
8	169 20年国債	1.3 %
9	2 武田薬品工業劣後債	1.3 %
10	376 10年国債	1.3 %
	その他	65.1 %
	合 計	92.2 %

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2000.9.19)



■ 基準価額は、2015.6.2を10000として指数化しております。

■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

* 当ファンドはNOMURA-BPI(総合)をベンチマークとします。

NOMURA-BPI(総合)は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数であり、NOMURA-BPI(総合)に関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● ファンドマネージャーコメント(国内債券)

国内の長期金利(10年国債利回り)は上昇しました。

月前半は、米国で予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことを受け、国内金利も上昇基調となりました。また、日銀の正副総裁が金融政策決定会合で利上げを議論し判断すると言及したことも、金利上昇要因となりました。しかし、米国で物価指標が予想を下回り金利が低下に転じたことや、国内でも金利上昇して迎えた20年債入札が好調な結果となったことから、国内金利の上昇幅は縮小しました。金融政策決定会合では日銀が追加利上げを決定し、無担保コール翌日物金利を0.50%程度としました。ただし、事前に織り込みが進んでいたため市場の反応は限定的となり、月末にかけて長期金利は一進一退の動きとなりました。

<運用経過>

デュレーション(投資資金の平均回収期間:金利の変動による債券価格の感応度)は、海外金利の上昇や日銀の利上げ観測が高まることを警戒し、月前半はショート(短め)としました。その後、海外金利の上昇が一服したことや、国内金利が利上げを織り込む水準に上昇したことから、ロング(長め)へ変更しました。残存期間構成は、月前半は短期~長期ゾーンをアンダーウェイト(UW)、月後半は主に長期ゾーンをオーバーウェイト(OW)としました。種別セクター戦略では、事業債のOWを継続しました。

★ 大樹生命からのお知らせ

● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがって、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。● 当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。● 当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有することではありません。● 他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり・約款等を必ずご覧ください。

【外国株式：外国株式マザーファンド(A号)】

● 基準価額および純資産総額

	1月31日	前月比
基準価額(円)	66,849	158
純資産総額(百万円)	8,393	27

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

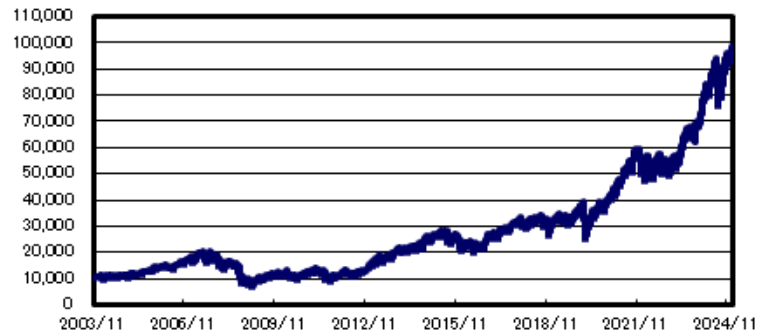
● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク(*)
1ヵ月	2024.12.30	0.24%	0.24%
3ヵ月	2024.10.31	3.26%	4.93%
6ヵ月	2024.7.31	13.13%	12.29%
1年	2024.1.31	25.58%	27.66%
3年	2022.1.31	84.29%	83.74%
設定来	2003.11.21	853.76%	918.16%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2000.4.3)



■ 基準価額は、2003.11.21を10000として指数化しております。

■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

* 当ファンドはMSC I コクサイインデックス(配当込み、円ベース)をベンチマークとします。MSC I コクサイインデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc. が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	1月31日
株式	97.7 %
先物等	0.0 %
現金金等	2.3 %
合計	100.0 %

● 国別組入比率※2

アメリカ	76.4 %
アイルランド	5.1 %
フランス	4.6 %
スイス	4.4 %
イギリス	3.7 %
その他	5.8 %
合計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1

(組入全銘柄数 90)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.8 %
2	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	5.5 %
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.5 %
4	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.7 %
5	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.4 %
6	SERVICENOW INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.1 %
7	FORTINET INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.8 %
8	SCHNEIDER ELECTRIC SE	フランス	資本財	1.6 %
9	ACCENTURE PLC-CL A	アイルランド	ソフトウェア・サービス	1.6 %
10	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.6 %
	その他			68.2 %
	合計			97.7 %

※1 マザーファンド純資産総額対比、※2 マザーファンド株式評価額対比

● ファンドマネージャーコメント (外国株式)

米国株式市場は上昇しました。上旬は利下げ期待の後退を受けて軟調に推移しました。CPI(消費者物価指数)などの物価統計が落ち着いた水準となると、長期金利の低下を伴い、株式市場は上昇に転じました。トランプ新大統領が就任し、政策に注目が集まりましたが、対中政策については従来よりも融和的なトーンと受け止められたこともプラス要因となりました。その後は、AI関連市場の成長減速懸念で調整する局面もありましたが、堅調な企業業績動向が安心材料となりました。月末に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利は据え置きとなりました。

欧州株式市場は上昇しました。米国と同様に、月末に向けて長期金利が低下したことを好感しました。米中関係の改善期待、中東ガザ地区での停戦合意など地政学リスクの緩和期待も追い風になりました。

(為替)米ドル/円は下落しました。月初は、米金利の上昇から米ドル高・円安となりました。その後、日銀の利上げ観測や米金利の低下を受けて、米ドル安・円高の展開となりました。月後半は、日銀の利上げやトランプ新大統領の関税政策に対する懸念などを材料に、もみ合いの展開となりました。

ユーロ/円は下落しました。ユーロは対米ドルではトランプ新大統領の関税政策に対する思惑が一巡し明確な方向性が出ない中、ユーロ/円は米ドル/円の動きに連動する展開となりました。

<運用経過>

地域配分では、北米、環太平洋のアンダーウェイト(UW)、欧州のオーバーウェイト(OW)を維持しました。北米は長期的な成長性、安定性を評価していますが、バリュエーション(投資価値評価)の相対的な割高感からUW、環太平洋も中国の構造的な成長減速と豪州の割高感からUWを継続しました。欧州は利下げ局面にあること、グローバル景気の底打ちや相対的な割安感からOWを維持しました。

個別銘柄では、引き続き安定したCF(キャッシュフロー)成長が期待できるクオリティグロースの銘柄(安定的な高成長が期待できる銘柄)を中心に投資を行いました。電力インフラなど今後も成長が期待できる事業に強みを持つクアンタ・サービシズ、金融データを活かした成長性のあるサービスの提供を評価したロンドン証券取引所グループを新規に組み入れました。一方で、生成AI事業の収益性や競争環境の激化が懸念され、アドビを売却しました。

★ 大樹生命からのお知らせ

● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがって、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。● 当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。● 当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有することではありません。● 他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

【外国債券: 外国債券マザーファンド(A号)】

● 基準価額および純資産総額

	1月31日	前月比
基準価額(円)	34,831	-704
純資産総額(百万円)	8,917	-116

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク(*)
1ヵ月	2024.12.30	-1.98%	-1.99%
3ヵ月	2024.10.31	-0.88%	-1.02%
6ヵ月	2024.7.31	0.58%	0.69%
1年	2024.1.31	5.15%	5.48%
3年	2022.1.31	18.54%	18.86%
設定来	2003.11.21	127.79%	140.18%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2000.4.3)



■ 基準価額は、2003. 11. 21を10000として指数化しております。

■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

* 当ファンドはFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとします。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCの開発した指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	1月31日
債券	98.3 %
先物等	0.0 %
現金金等	1.7 %
合計	100.0 %

平均残存年数(年)

8.02

平均利回り

3.69%

● 満期構成 ※2

	1年未満	1.7 %
1-3年	16.1 %	
3-5年	28.8 %	
5-7年	12.4 %	
7-10年	16.9 %	
10年以上	24.1 %	
合計	100.0 %	

● 通貨別構成 ※2

アメリカドル	48.5 %
ユーロ	30.1 %
中国元(オフショア)	9.5 %
イギリスポンド	5.4 %
オーストラリアドル	2.5 %
その他	4.0 %
合計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1

(組入全銘柄数 84)

	銘柄	通貨	比率
1	US TREASURY N/B 4.5 05/15/27	アメリカドル	8.6 %
2	US TREASURY N/B 2.75 02/15/28	アメリカドル	6.1 %
3	US TREASURY N/B 4.25 06/30/29	アメリカドル	6.0 %
4	CHINA GOVERNMENT BOND 2.75 06/15/29	中国元(オフショア)	4.8 %
5	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 3.5 05/31/29	ユーロ	3.7 %
6	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.6 05/15/41	ユーロ	3.1 %
7	US TREASURY N/B 1.125 05/15/40	アメリカドル	2.9 %
8	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 1.5 04/30/27	ユーロ	2.8 %
9	US TREASURY N/B 0.5 05/31/27	アメリカドル	2.8 %
10	US TREASURY N/B 4.5 02/15/44	アメリカドル	2.3 %
	その他		55.2 %
	合計		98.3 %

※1 マザーファンド純資産総額対比

※2 マザーファンド現物債券評価額対比

● ファンドマネージャーコメント(外国債券)

米国では、長期金利(10年国債利回り)は小幅に低下しました。ISM(全米供給管理協会)非製造業景況指数や雇用統計が市場予想を上回ったことから、金利は上昇しました。その後は、コアCPI(消費者物価指数)が市場予想を下回ったことから、金利は低下に転じました。トランプ新大統領の関税政策に対する思惑により、金利は上下動する局面がありましたが、中国のAI開発企業DeepSeekに端を発するハイテク株の急落により、最終的には低下しました。FOMC(米連邦公開市場委員会)では、市場予想通り政策金利が据え置かれました。

ユーロ圏では、長期金利(ドイツ10年国債利回り)は上昇しました。月前半は、米英の金利上昇や欧州経済指標の上振れなどをを受け、金利は上昇しました。その後、米金利低下やECB(欧州中央銀行)の利下げ、欧州経済指標の下振れを受けて金利は低下しましたが、月間を通しては上昇しました。

(為替)米ドル/円は下落しました。月初は、米金利の上昇から米ドル高・円安となりました。その後、日銀の利上げ観測や米金利の低下を受けて、米ドル安・円高の展開となりました。月後半は、日銀の利上げやトランプ新大統領の関税政策に対する懸念などを材料に、もみ合いの展開となりました。

ユーロ/円は下落しました。ユーロは対米ドルではトランプ新大統領の関税政策に対する思惑が一巡し明確な方向性が出ない中、ユーロ/円は米ドル/円の動きに連動する展開となりました。

<運用経過>

債券国別配分は、ユーロ圏内において投資制限上の理由から格付けの低いイタリアのアンダーウェイト(UW)を継続する一方、スペインをオーバーウェイト(OW)としました。

通貨配分は、月前半は米ドルをユーロや英ポンド、中国元などに対してOWとしました。月後半は米ドルをユーロや英ポンドに対してUWへ変更し、月末にはニュートラルウェイト(NW)としました。

デュレーション(投資資金の平均回収期間:金利の変動による債券価格の感応度)は、米国を短めから中立へ変更し、ユーロ圏、英国、中国は中立を維持しました。ただし、それぞれ中立ながら少しずつ長めのため、ポートフォリオ全体では短めからやや長めになりました。

残存構成は、米国は中期と長期をUWからNWへ変更しました。ユーロ圏は中期のOWと超長期のUWを維持しました。英国は長期をOWへ変更しました。

種別配分は、国債以外の債券の組入れを継続しました。

★ 大樹生命からのお知らせ

● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがって、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。● 当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。● 当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DS7セツマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。● 当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有することではありません。● 他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。